

◎13:00～14:30

「人文学部からの発信・人文学部での出会い」

テーマ別
企画

1 シンポジウム【会場:大会議室】

文化を育む仕事―博物館や図書館で活躍する卒業生―

文科学科はさまざまな文化事象に関する研究・教育を行っています。ここでは、文化財保護や図書館司書といった職場で働く卒業生たちにその活躍を報告してもらい、文化の普及や発展に関わるそうした仕事の意義や楽しさ、あるいは将来への展望などについて、共に考えてみたいと思います。

2 シンポジウム【会場:講堂小ホール】

世界の若者が見る日本

特に最近10年ほどの間、海外の協定校が増え、人文学部への留学生も多様化しています。留学生はなぜ日本や日本語に興味をもったのか、協定大学の教員や、国際交流に関心のある学生、国際的に活躍する卒業生の話もまじえ、日本や世界の「今」の状況をグローバルな視点で見えてみましょう。

3 シンポジウム【会場:視聴覚教室】

求められる『自治体職員』像と大学教育

1990年代以降の地方分権改革の動きの中で、求められる「自治体職員」像はどのように変容してきたのでしょうか。人文学部卒業の自治体職員、学生、教員がともに考えることで、未来の自治体職員を目指す学生諸君にエールを送れたらと考えています。

4 講演会【会場:第2講義室】

和田康紀 法律経済学科・准教授(前厚生労働省企画官)

日本の社会保障～30年前・30年後を考える～

国民の生活を支える社会保障制度は、社会・経済状況の変化に対応しながら、発展してきました。人文学部30周年に際し、日本の社会保障制度について、これまで30年間の形成・発展の流れを振り返るとともに、現在直面している課題と30年後の将来を見据えた展望について解説していきたいと考えています。

5 交流会【会場:第1講義室】

先輩法曹と語ろう

法曹とはなにか、社会においていかなる使命を負っているのか、学生時代にどのような志や信念を持って勉強に打ち込んだのか、など、人文学部出身法曹とともに熱く語ろう。

6 報告会【会場:第3講義室】

学生が取材―三重の地域を善くしたいと頑張る企業・NPOの活動

“産官学民”の連携により、NPOと企業のパートナーシップを促進するワーキンググループを今年度新しく立ち上げました。現在、三重県内で地域を善くしたいと活動する企業やNPOを学生がレポーターとなって取材・調査し情報発信する取り組みを行っており、その中間報告を行います。

7 シンポジウム【会場:第1演習室】

大学院修了生企画 大学院で「学び直す」

人文社会科学研究科に社会人として入学・修了した人たちの多くは、現在、三重県内外でそれぞれの役割を担っています。この企画は、社会的な経験 の上にこれから「学び直そう」と思っている人たちと修了生が、その志や思い、「学び直す」ことの意味等を語り合う企画です。

8 ポスターセッション【会場:講堂ホワイエ】

人文学部 ―研究の現在

文化学科の4つの地域研究、法律経済学科(社会学科)の各分野で、また、分野を横断して、現在、どのような研究が行われているか、どのような課題が追究されているかを、ポスターでわかりやすく示します。興味のある話題が見つければ、それについて教員や学生に質問したり話し合ったりできるコーナーもあります。

人文学部同窓会の総会が12時30分～13時の予定で行われます。
また13時～14時30分に人文学部同窓会としての企画も検討中です。